

絵画「白龍の図」奉納 サンエス電気等 釧路神社に



寄贈した絵と宮田社長（前列左から2人目）、黒滝常務（同3人目）ら関係者

【釧路発】サンエス電気通信㈱（釧路市）の宮田昌利社長と鶴雅リゾート㈱（釧路市）の黒滝博常務取締役は2日、釧路町の釧路神社に絵画を奉納した。奉納した絵画「白龍の図」は黒滝常務が描き、宮田社長が額をつけたもの。宮田社長は「訪れた参拝客が絵を見て感激してくれたら」とコメントした。

サンエス電気通信は昨年、同神社に鳥居を奉納し、参道の石畳を整備するなど、地域貢献活動に尽力している。

今回奉納した絵画は、愛媛県の大洲市立肱川風の博物館・歌麿館主催「第23回版画絵はがきコンテスト」で特別賞を受賞した黒滝常務の作品を見て感銘を受けた宮田社長が製作を依頼し

たもの。黒滝常務がアクリル絵の具を使用し1年を

けて制作した同作品は、白龍が阿寒湖や屈斜路湖、摩周湖など龍にまつわる逸話を持つ湖を通りながら、斜里から釧路神社までの道東地域を横断しているイラストで、ツルやフクロウのほか、エゾカンゾウやミスバシヨウなど地域の花をふんだんにあしらっている。

この日、玉串奉てんなど奉納の儀を執り行ったあと、神社から両者に感謝状が贈呈された。

宮田社長は「素晴らしい絵を奉納できてうれしい。釧路神社がますます栄えて、訪れた参拝客が絵を見て感激してくれたら」と期待。黒滝常務は「管内を巡り、いろいろと調べ、試行錯誤しながらようやく完成させた」と振り返るとともに、道東地域の繁栄を祈念した。

絵画は釧路神社の堂内に飾られ、一般参拝客も観覧可能とする予定。